

第133回若夏大会のガイドライン

島尻地区小学生バレーボール連盟

4/16現在、沖縄県では連日100名以上の感染者を出し、医療はひっ迫し、まん延防止措置がとられている。その最中の大会であることを念頭に置き、今までの大会とは違い、厳しい対策を講じなければならない事をご理解下さい。

参加者の健康と安全を最優先にするために、以下のガイドラインに基づき大会を行う。
各会場においては感染拡大防止に努め、全ての参加者に健康チェックシートの提出を求める。

1, 3蜜を回避するために

- ① 体育館への入館は、1チームにつき登録選手12名以内、ベンチスタッフ3名以内とし、今大会は無観客とする。
※公式練習開始後は試合をするチームと審判をするチーム(10名以内)に限り許可する。
※ビデオ撮影者1名は入館を許可する。
※Bブロックについては世話人1名の入館を許可する。
※会場校の父母は係があるので、必要人数の範囲内で許可する。
- ② 小学校の敷地内についても父母の立ち入りを制限する。上記の者のみ許可する。
- ③ 開閉会式は行わない。決勝戦終了後、表彰式のみ行う。
- ④ 公式練習は、まず第1試合のチームが5分間練習をし、相手チームと3分間の打ち合い後、試合を開始する。試合終了後、まだ練習をしていないチームが5分間練習をし、相手チームと3分間の打ち合い後、試合開始する。
- ⑤ ベンチは背中合わせにしないようにする。
- ⑥ ベンチの椅子は間隔をあけて3脚まで設置できる。コートチェンジの際には、各チームで椅子を持って移動する。試合終了後、椅子を消毒する。
- ⑦ 選手の待機場所は、換気の良い屋外に各チームごと密にならないように設置する。
- ⑧ 他チームとの交流は極力避ける。
- ⑨ 試合間には消毒する時間を設ける。審判をしたチームが試合終了後、ボールやフラッグなどを消毒し、消毒終了後、合図を出し、次の試合のチームが入館出来る。

2, 大会の参加、入館の際の注意事項

- ① 屋内、屋外を問わずマスクを着用すること。(準備運動、競技中は無理に強要しない)
- ② 会場出入口に消毒用アルコールを設置し、入退場の際には手指消毒を行うこと。
- ③ 会場への入場は、原則として健康チェックシートを提出した者のみとする。ただし、入館の際の検温で発熱(37.5以上)がある場合は入館出来ない。
また、熱はなくても鼻水が続く、のどが痛いなどの体調不良がある場合は入館出来ない。
- ④ 監督、コーチ、マネージャーはワッペンをしなければ入館出来ない。